

図書便り

第132号
2015年12月21日発行
茨城県立筑波高等学校
図書委員会

読書感想文校内コンクール入賞者

9月に実施された読書感想文校内コンクールには、多くの生徒が感想文を寄せてくれました。力作ぞろいでしたが、中でも優秀だった3名が校内優秀賞に選ばれました。

校 内 優 秀 賞	1年3組	飯塚 結希乃	『「正義と微笑」で感じたこと』
	3年1組	皆川 実咲	『黒い雨』
	3年1組	山中 美穂子	『1リットルの涙』

優秀賞3作品は「全国青少年読書感想文コンクール茨城県の部」に応募し、1年3組飯塚結希乃さんの作品が、優良賞に選ばれました。飯塚さんの作品は、県下の優れた作品30編を集めた読書感想文集「いばら」第44集に掲載されました。

校内入選	3年1組	岡部 真理	2年1組	高井 優希, 飯村 莉奈, 木村 萌香, 大里 幸楓
	1年1組	太田 向日葵	1年4組	羽方 恵

オススメ本 倉持 利夫 先生

書名 世に棲む日々 全4巻 (文藝春秋)
著者 司馬遼太郎

幕末動乱の中、国を憂う一途な思いとそれを成し遂げる為に身を賭して果敢に行動する吉田松陰の姿に感動しない人はいないと思います。



《読本の勧め》

皆さんはテレビや映画、音楽や絵画、素晴らしい景色など、様々な場面で「感動」に出会います。そして、その「感動」は自分の感性や考え方に大きく影響を与え、豊かな人生を作る大きな原動力となります。そのような

「感動」を是非本の中から得てみてはいかがでしょうか。

私は本を読むことによって作者の思いが理解できたり、作者の意図とは違う考え方を見いだしたりと、「感動」とともに多くの人生の糧を得てきました。皆さんも是非一冊の本を手に取り沢山の「感動」を味わってみてください。

オススメ本 渡辺 容加子 先生

書名 星の王子さま (岩波書店)
著者 サン＝テグジュペリ

「本は心の栄養」という言葉があります。全く本を読まなかったら心は元気をなくして動けなくなってしまうかも

文学散歩

戦争をしていた時代の資料や、実際に当時使われていた物を見ました。最も印象に残っているのは鐘です。この鐘は金属類回収令を免れたもので、これを見る人に、戦争があった事実を思い出させます。

3年 男子



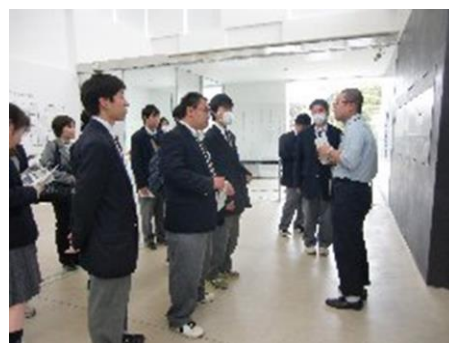
11月13日(金)の県民の日に、図書委員会主催の文学散歩が実施されました。「本県の歴史の一端に触れる・平和について考える」ことを目的として、今年で17回目を数えました。

土浦市博物館、亀城公園、予科練記念館(阿見町)を訪ね、展示物を見学したり、公園でくつろいだりと、充実した一日を過ごすことができました。



自分と同じくらいの年齢の少年たちが、自ら予科練に志願したということに驚きました。もし私が男だったとしても、今の自分にはできないだろうと思います。当時の少年たちはみんなすごいと思いました。

2年 女子



新着図書

今回は87冊
購入しました



『星の王子さまーオリジナル版』
『私のテーブルマナー本当に大丈夫?』
『人生つれづれニやるままに 兼好法師』
『だれもが知ってる小さな国』
『世にも奇妙な君物語』
『レシピブログの人気お菓子 Best100』
『ドラゴンファイヤー』
『ケーキ王子の名推理』
『料理をおいしくする切り方のひみつ』
『まっぴる東北』
『一冊でわかる百人一首』
『生きものの持ちかた その道のプロに聞く』
『画用紙でつくる 白い立体切り絵』
『誰もが気になる モノの値段』
『マンガで覚える 図解 百人一首の基本』
.....



「しおり」のプレゼント

11月7日の文化祭の図書委員会ブースで、「しおり」のプレゼントを行いました。図書委員や有志の生徒たちが心を込めて作成した「しおり」を、多くの来場者に配ることができました。

「しおり」の自作コーナーでは、オリジナル「しおり」を作って楽しむ様子もみられ、来場者に喜んでもらえたのではないかと思います。



と、ある事件の影を引きずるカケル。ハイジは、同じ寮で共同生活を送るメンバー達と箱根駅伝出場を目指すことを決意する。メンバー達は、陸上とは全くの無縁。果たして、彼らは、箱根の頂点に立つことができるのか。



オススメ本 小野瀬 尊 先生

書名 風が強く吹いている (新潮文庫)
著者 三浦しをん

走る才能をもった2人の若者が出会った。故障で一流ランナーへの道を諦めたハイジ